

次々と完成！

津波防災 まちづくり

市では津波から皆さんの生命財産を守るため、津波避難施設などの整備に取り組んでいます。その整備状況についてお知らせします。

問い合わせ 建設課 池田 ☎(53) 2628

整備した津波避難施設
などを利用し避難訓練

平成26年度から実施している津波避難施設などの整備は、沿岸部5地区の皆さんと作成した「津波防災まちづくり計画」に基づき、着々と整備を進めています。

津波避難施設は、これまでに津波避難タワー17基、津波避難ビル1棟、防災公園1カ所が完成。

さらに、新たな津波避難タワー2基が今月末「静波1丁目公民館北側」と来年3月「静波10丁目公民館東側」に、また「大江いのち山防災公園」が今月末に完成予定です。

平成29年度末には、計画されていた津波避難施設12カ所すべての整備が完了します。

津波避難地・避難路は、これまでに10カ所が完成。今年度はさらに5カ所（地頭方・相良・片浜地区内）を整備し、平成30年度までに計画した20カ所全てが完成予定です。

各地域では、整備した施設を利用した避難訓練が実施されています。南海トラフ巨大地震などの災害時には、慌てず、冷静な避難行動がとれるよう、日ごろから避難ルートを確認するなど、準備をして

おくことが大切です。



津波避難タワーを利用した避難訓練

レベル1津波対策の防
潮堤整備が進む

海岸部では静岡県が相良須々木海岸、市が地頭方漁港で、それぞれレベル1津波（*）対策の防潮堤工事を実施しています。

今後引き続き、津波対策施設の一日も早い完成を目指して、整備を着実に進めていきます。

（*）レベル1津波とは、本県がこれまで地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く（駿河・南海トラフでは約100年から150年に1回）発生すれば大きな被害をもたらす津波のことを指します。相良海岸における堤防などの津波対策施設は、この高さに対応した整備を行います。



大江いのち山防災公園



遠渡1号避難地



福岡公民館北側津波避難タワー



相良須々木海岸防潮堤・東沢川北側